

8月31日
発行



愛媛県立中央病院

愛媛県立中央病院広報誌

いはるびよ

2020年
第48号

ご自由にお持ち帰りください



手術支援ロボット2台目の運用が始まりました



術者（操作者）は、患者さんから少し離れたところからロボットアームを操作し、3Dモニター画面を見ながら内視鏡手術を行います。2台目の導入によって、これまで以上に患者さんの体への負担が少ない低侵襲手術を提供することが可能となりました。

○消化器外科上部（食道、胃、十二指腸）チーム（2ページ写真左上）

昨年140例の胃癌手術のうち26例をロボット支援で実施しました（1月～12月実績）。今年は2台体制となり、およそ50例実施の見込みです。

○呼吸器外科チーム（2ページ写真右上）

微細な手術手技が可能となるロボット支援肺葉切除術を2019年7月より開始しました。手術支援ロボットが2台になったことで、希望者に対し予定を組みやすくなり、2020年のロボット手術は前年比で3倍に増えました。

○泌尿器科チーム（2ページ写真左下）

今回増設された2台目のロボットは、さらに利便性が増し進化したロボットとなっています。泌尿器科では特に膀胱がんや腎がんの部分切除などに威力を発揮しています。

ロボットの進化には目を見張るものがありますが、AIが付加されたロボットなどが開発されたら自分の仕事が楽になると思うこともあります。今後が楽しみです。失業するかもしれません……。

○消化器外科下部（小腸、大腸、肛門）チーム（2ページ写真右下）

他病院の医師が症例を見学にくる施設としてロボット手術の教育と安全な普及を行いつつ、直腸癌の根治性と機能温存を両立させた手術を行っています。

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地 TEL: 089-947-1111



ホームページは
こちらきゃん！



当院のロボット支援手術に携わる4つの専門チーム

消化器外科上部チーム



呼吸器外科チーム



泌尿器科チーム



消化器外科下部チーム



手術室を増設しました

手術センターでは、年間約8,000件の手術を行っています。24時間体制で緊急手術に対応するとともに、ロボット補助下手術やナビゲーションシステムを用いた精密手術など、最先端の手術を行っています。

昨年末に2台目の手術支援ロボットが導入され、増加するロボット補助下手術に対応するため、手術室を1室増設しました。患者さんに高度で安全な手術を提供できるよう、医師・看護師・臨床工学技士など様々な職種のスタッフが協力して業務に取り組んでいます。



病院の機能について、第三者より認定を受けました



公益財団法人日本医療機能評価機構による書類審査および訪問審査（主たる機能：一般病棟2 評価項目3rdG : Ver.2.0）を受審し、機関の定める認定基準を達成しているとして認定されました。今回が2回目の認定（更新）となります。今後も継続して医療の質改善活動や患者サービスの向上に努めてまいります。



NPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）による書類審査および訪問審査による臨床研修評価を受審し、認定評価をいただきました。今後は、他の研修病院の模範となるべく、臨床研修体制の一層の充実に努めてまいります。



耳鼻咽喉科・頭頸部外科は耳、鼻、のどなどの首から上の多種多様の臓器を扱う診療科です。人間がもつ感覚のうち、五感とは視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の5つの感覚のことを意味しており、人間が古くから外界の状態を素早く察知したり、生活を豊かにして幸せを感じるために大切な機能とされてきました。そういった人間として大切な五感をつかさどる主要な感覚臓器を扱う診療科です。

当科の代表的な疾患として、次のようなものがあります。

耳疾患：突発性難聴、メニエール病、顔面神経麻痺、慢性（真珠腫性）中耳炎など

鼻疾患：慢性・急性副鼻腔炎、鼻副鼻腔腫瘍、重症アレルギー性鼻炎、鼻出血など

口腔・咽頭疾患：扁桃周囲膿瘍、慢性扁桃炎、アデノイド増殖症、声帯ポリープなど

頭頸部腫瘍：唾液腺や甲状腺、口腔咽頭の良性・悪性腫瘍など



このように当科が取り扱う疾患は、耳鼻咽喉における感染・炎症性疾患や腫瘍性疾患、急性機能障害など、バリエーションが豊富で多岐にわたります。

また、頭頸部がんの治療では、形成外科、放射線科など、他の診療科と協力して、根治性と機能温存の両立を目指した集学的治療を積極的に行ってています。具体的には、遊離皮弁による再建手術を伴う悪性腫瘍拡大切除手術や超選択的動注化学療法・放射線併用治療などを実施しており、県内の頭頸部がん治療において基幹的病院の一翼を担っています。

最近、新たな内視鏡手術を導入しました

以前から、鼻副鼻腔や喉頭疾患に対しては内視鏡手術をいち早く取り入れ、頭蓋底近傍にまで適応を拡大していました。最近では耳科手術や悪性腫瘍に対しても、耳内視鏡的鼓室形成術（TEES）や経口的咽頭・喉頭腫瘍切除術（TOVS）など新分野の内視鏡手術を取り入れて、より低侵襲な手術治療として実施しています。

耳鼻咽喉・頭頸部の病気でお困りの場合は、是非、ご相談ください。



▲耳内視鏡的鼓室形成術（TEES）の手術風景

当院の
ドクターを
紹介します

ドクターズカルテ

産婦人科 森 美妃先生
Doctor



▲外来診察室にて

産婦人科の森 美妃と申します。今治市出身で、2004年に高知医科大学（現高知大学）を卒業後、2年間の卒後臨床研修を経て2006年に愛媛大学産婦人科に入局しました。2015年6月から当院で勤務しております。主に周産期医療、婦人科一般診療を行っております。座右の銘は、“我この道を行く この道の他に我を生かす道無し”です。

プライベートでは、好きなアーティストのコンサートに行ったり、旅行に行ったりしています。（新型コロナウイルスの影響で行けなくなりました・・・）今後も精進してまいりたいと存じますので、よろしくお願ひいたします。



▲2018年にさいたまスーパーアリーナでのライブに参加しました

当院の
研修医を
紹介します

Resident

1年次研修医
北村 拓也先生

仕事以外の過ごし方を教えてください。

新型コロナウイルスによる外出規制も弱まり、少しずつ外に出られるようになりました。感染症に気をつけながら、友人や同期とご飯を食べに出かけたりしてリフレッシュしています。また、大学生の頃には出来なかったゴルフも同期と一緒に始めました。

日常気を付けていることは何ですか？

常に探求心を持つようにしています。実臨床の現場では自分の分からない事も多々出てきます。その時は、まず興味を持ってすぐに調べる、そして自分なりに疾患の原因や治療法などを考える、ということを心がけて日々勉強しています。

今後の目標は何ですか？

日々、先生方や医療スタッフの方々に支えられながら、患者さんと関わる中で多くの事を学ばせていただいています。これから関わりゆく全ての方への感謝の気持ち、そして医師を目指すようになった頃の初心を忘れずに、医師として成長していきたいです。



▲総合診療科にて検査や治療方針を指導していただいている様子（左側）



▲研修医勉強会で腰椎穿刺の指導を受けている様子（左下）



清掃を通じて安らぎ・癒しの空間を創出 西村商事

「キレイ」
を保つ
きゃん



当社の業務は、大きく2つの業務に分類されます。

1つ目は清掃環境保持業務です。

【病室・診察室・トイレ・浴槽などの清掃】・【床面洗浄やワックス掛け】・【ガラス清掃】など病院内の清掃業務全般を行っています。その他、敷地内の【植栽管理】や【害虫防除・駆除】など、院内の「キレイ」を保ち、安らげる癒しの空間を創り出しています。



2つ目は廃棄物の運搬・保管業務です。

清掃などで回収した【一般廃棄物や産業廃棄物】、使用済の注射針などの【感染性廃棄物】を適切かつ安全に運搬処理しています。

施設をご利用中の皆様には気づかれにくい目立たない業務ではありますが、約70名のスタッフで施設の衛生管理維持を日々行っています。

患者さんや施設を利用する全ての皆様を気持ち良くお迎えできるよう、清掃のプロフェッショナルの自覚と誇りを持ち、満足度の高い環境を提供させていただきます。



転入・転出医師 (2020.6.1 ~ 2020.8.31)

転入

所属	氏名	専門
救急科	中城 晴喜	専攻医
麻酔科	中西 和雄	麻酔一般、集中治療
新生児内科	伊藤 智子	新生児集中治療
泌尿器科	山川 真季	専攻医
循環器内科	檜垣 彰典	循環器全般
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	上甲 智規	耳鼻咽喉科一般
眼科	河内 さゆり	専攻医

転出

所属	氏名
救急科	竹内 龍之介
麻酔科	寺尾 欣也
産婦人科	井上 翔太
泌尿器科	西田 敬悟
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	羽成 敬広

県中豆知識

当院は基幹災害拠点病院に指定されており、災害時には愛媛県の災害医療の中心的役割を担うことが求められます。入院患者さんに提供される病院の食事は、災害が発生した非常時にも提供できるように、冷蔵(チルド)技術を取り入れた新しい調理方式を採用しています。



愛媛県立中央病院 のご紹介

※2019年度1年間の集計

医師・歯科医師数



283人

※2020年4月1日現在

看護師数



794人

※2020年4月1日現在

専門・認定看護師数

24人

※2020年4月1日現在

病床数



827床

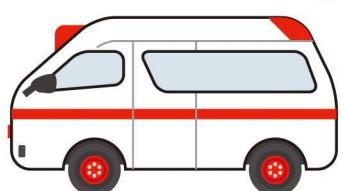
※許可病床数

救急車での搬送件数

3,661件

5,900人

※3次救急、2次救急



入院延患者数

218,208人

新入院患者数
18,262人

1日平均新入院患者数
49.9人

外来延患者数

370,815人

1日平均患者数
1,545.1人

紹介患者数（初診のみ）

17,671人

紹介率
72.9%

逆紹介率
108.5%

平均在院日数

12.1日

ドクターヘリ出動件数

346件



年間手術件数（手術室実施分）

8,709件

外来化学療法年間実施件数

9,397 件

※2019年（1月～12月）

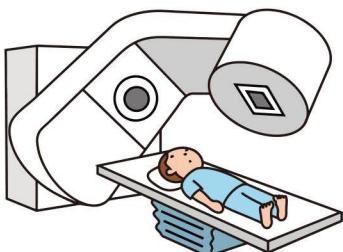
PET-CT 検査件数

3,139 件

放射線治療患者数

361 人

※2019年（1月～12月）



ロボット支援手術件数

212 件

※実施件数



手術支援ロボット

MRI 検査件数

10,686 件



内視鏡検査・治療総件数

18,836 件

※2019年（1月～12月）



心臓カテーテル検査・治療総件数

1,404 件

※2019年（1月～12月）

分娩数

1,080 件

※2019年（1月～12月）



リハビリテーション依頼患者数

3,254 人

※2019年（1月～12月）

連携医療機関紹介～第19回～

医療法人和昌会 貞本病院

- 所在地 松山市竹原町1丁目6-1
- TEL 089-945-1471 ■FAX 089-945-5829
- 診療科目 脳神経外科・耳鼻咽喉科・内科・循環器科・放射線科
- 病床数 60床
- 外来診療時間 休診日 土曜午後・日曜・祝日（耳鼻咽喉科は火曜午後）

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30 (受付は8:00～11:30まで)	○	○	○	○	○	○	×
14:00～17:30 (受付は13:30～16:30まで)	○	△ 耳鼻咽喉科は 休診	○	○	○	×	×



【病院の概要】 1971年3月、中四国では初めての脳神経外科を中心に、耳鼻咽喉科、内科・循環器科、放射線科、リハビリテーション科の専門病院として開設いたしました。場所は松山市内中心部より南西部に位置し、伊予鉄郡中線土橋駅から徒歩1分で、交通の便もとても良い所にあります。

【病院の特徴】 最新型3テスラMRI装置2台体制で診療を行っておりまますので、お待たせする事なく予約を入れる事が出来ます。もちろん脳神経外科領域だけではなく、広く整形外科・循環器内科・消化器内科・婦人科領域の画像診断もお役に立つております。

病院の理念としては「患者さまや利用者さまの権利を尊重し、地域に密着した、良質かつ適切な医療、介護、福祉サービスを提供できるよう」努力しております。何卒宜しくお願ひいたします。

医療法人 しげまつ内科クリニック

- 所在地 松山市居相1丁目10-20
- TEL 089-958-6500 ■FAX 089-958-6501
- 診療科目 内科・消化器内科・呼吸器内科
- 病床数 0床
- 外来診療時間 休診日 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	×
14:00～17:30	○	○	×	○	○	×	×



【病院の概要】 当院は、1979年現院長の父である初代院長が、松山市朝生田町に「重松内科胃腸科医院」として開院、長らく有床診療所として診療してまいりました。2007年に現院長が後を継ぎ、2011年椿神社の近く（松山市居相）に移転し、新たに「しげまつ内科クリニック」として開院しました。

【病院の特徴】 様々な症状をご相談いただくことも多く、近隣の消化管内視鏡や循環器を専門とする先生方、他科の先生方のお力を借りて日々診療を行っています。精密検査や専門的な判断、入院が必要な際には、県立中央病院を始めとする基幹病院へ紹介させていただき、ご指導、ご加療いただいています。特に県立中央病院は当診療所から比較的近く、これまで多くの方々を診ていただいている。今後も正確な診断と的確な治療を目指して、丁寧な診療を心がけてまいります。



当院は、2010年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。

このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随时ご紹介させていただきます。
(紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。)

お読みいただきありがとうございました！次号もお楽しみに！

